

## も く じ

まえがき	i
I 研究のあゆみ	1
1. 研究の背景	1
1) 診断過程の整備	1
2) 教材・教具の開発	1
3) 教育実践の積み重ね	1
2. 研究の経過	2
1) 趣 旨	2
2) 研究組織	2
3) 研究の概要	2
II 治療教育の実際	4
1. 診断と評価——その理論	4
1) 診断と評価の方法	4
2) 指導計画の作成	7
2. 診断と評価——その実際例	9
1) 指 導 例	9
2) 考 察	23
3. 個別の問題に対する取組み	25
1) 粗大運動の問題に対する取組み	25
2) 巧緻運動の問題に対する取組み	31
3) 精神遅滞に対する取組み	
—軽度の遅滞の場合—	41
4) 精神遅滞に対する取組み	
—重度の遅滞の場合—	49
5) 行動問題に対する取組み	58
III 研究のまとめ	65
1. 事例の概要	65
1) 全体の概況	65
2) 取組みの成果	68
3) 取組みの内容	69
2. ま と め	69
1) 多面的な治療指導	69
2) 継続的な指導	70
3) 早期からの指導	71
4) 親の理解と協力	72
5) 治療教育の実践的展開	73
文 献	75